

2024年度 決算説明会

2025年5月13日

カナデビア株式会社

財務情報

2024年度決算 実績概況

- 受注高および純利益は過去最高
- 売上高・営業利益は海外事業の伸長により、7期連続で增收・増益を達成

	2023年度		2024年度				
	(億円)	実績	期初見通し	前回見通し	実績	増減	
		(a)	(b)	(2月時点)	(c)	(c)-(a)	(c)-(b)
受注高	7,151	6,200	6,800	7,659	508	+7.1%	1,459
売上高	5,558	5,700	5,900	6,105	547	+9.8%	405
営業利益	243	260	260	269	26	+10.7%	9
営業利益率	4.4%	4.6%	4.4%	4.4%			
営業外損益	13	-40	-40	-26	-39	—	14
経常利益	256	220	220	243	-13	-5.1%	23
特別損益	-16	—	29	-7	9	—	-7
親会社株主に帰属する当期純利益	189	160	180	221	32	+16.9%	61
ROE	12.6%	9.5%	10.6%	12.6%			
ROIC	7.4%	7.0%	6.7%	6.8%			
1株当たりの当期純利益	112.74円	94.94円	106.81円	131.33円			
1株当たりの配当	23円	23円	23円	25円			

2024年度決算 営業外損益/特別損益

営業外損益

(億円)

	2023年度	2024年度	比較
受取利息・支払利息など	1	3	2
持分法による投資損益	17	6	-11
為替差損益	13	5	-8
その他営業外損益	-18	-40	-22
営業外損益 計	13	-26	-39

特別損益

(億円)

	2023年度	2024年度	比較
特別利益	-	29	29
特別損失	-16	-36	-20
特別損益 計	-16	-7	9

2024年度決算 連結貸借対照表

(億円)

	2023年3月末	2024年3月末 (a)	2025年3月末 (b)	比較 (b)-(a)
現金及び預金 (A)	864	716	708	- 8
営業資産	2,155	2,547	2,511	- 36
受取手形、売掛金及び契約資産	1,983	2,348	2,280	- 68
棚卸資産	172	199	231	32
有形固定資産	983	1,045	1,361	316
無形固定資産	111	192	412	220
その他	683	835	1,104	269
資産の部 合計	4,796	5,335	6,096	761
営業負債	1,146	1,066	1,064	- 2
支払手形及び買掛金、電子記録債務	732	579	658	79
契約負債（前受金）	414	487	406	- 81
有利子負債 (B)	865	914	1,358	444
借入金(リース債務を含む)	565	614	1,158	544
社債	300	300	200	- 100
その他	1,372	1,665	1,695	30
負債の部 合計	3,383	3,645	4,117	472
自己資本	1,396	1,627	1,894	267
非支配株主持分	17	63	85	22
純資産の部 合計	1,413	1,690	1,979	289
負債・純資産の部 合計	4,796	5,335	6,096	761
自己資本比率	29.1%	30.5%	31.1%	+0.6pt
ネット有利子負債 (B)-(A)	1	198	650	452

2024年度決算 連結キャッシュ・フロー計算書

(億円)

	2023年度	2024年度	比較
営業活動によるキャッシュ・フロー	5	248	243
投資活動によるキャッシュ・フロー	-215	-566	-351
財務活動によるキャッシュ・フロー	-26	302 ^{*1}	328
為替換算差額	50	6	-44
現金・現金同等物の増減額	-186	-10	176
現金・現金同等物の期首残高	848	697	-151
新規連結に伴う現金・現金同等物の増減額	35 ^{*2}	—	-35
現金・現金同等物の期末残高	697	687	-10

*1 借入金の増加：451億円、社債の償還：-100億円、配当金の支払い：-38億円など

*2 日立造船マリンエンジン（今治造船からの第三者割当増資）

2024年度決算 セグメント別 受注高・売上高・営業利益

	2023年度		2024年度				
	(億円)	実績	期初見通し	前回見通し	実績	増減	
		(a)	(b)	(2月時点)	(c)	(c)-(a)	(c)-(b)
受注高	7,151	6,200	6,800	7,659	508	+7.1%	1,459
■ 環境	5,588	4,700	5,400	6,174	586		1,474
■ 機械・インフラ	808	840	840	912	104		72
■ 脱炭素化	726	635	535	540	-186		-95
■ その他	29	25	25	33	4		8
売上高	5,558	5,700	5,900	6,105	547	+9.8%	405
■ 環境	4,073	4,100	4,360	4,535	462		435
■ 機械・インフラ	910	830	800	830	-80		0
■ 脱炭素化	552	750	720	702	150		-48
■ その他	23	20	20	38	15		18
営業利益	243	260	260	269	26	+10.7%	9
■ 環境	191	220	256	254	63		34
■ 機械・インフラ	30	24	6	10	-20		-14
■ 脱炭素化	18	13	-5	1	-17		-12
■ その他	4	3	3	4	0		1

2024年度決算 環境事業（全体）

	2023年度		2024年度				
	(億円)	実績	期初見通し	前回見通し	実績	増減	
		(a)	(b)	(2月時点)	(c)	(c)-(a)	(c)-(b)
受注高	5,588	4,700	5,400	6,174	586	+10.5%	1,474
EPC（新規建設）	1,948	2,510	2,910	3,094	1,146		584
継続的事業	3,640	2,190	2,490	3,080	-560		890
売上高	4,073	4,100	4,360	4,535	462	+11.3%	435
EPC（新規建設）	2,325	2,150	2,250	2,438	113		288
継続的事業	1,748	1,950	2,110	2,097	349		147
営業利益	191	220	256	254	63	+33.0%	34
EPC（新規建設）	15	39	73	71	56		32
継続的事業	176	181	183	183	7		2

2024年度決算 環境事業 (Inovaを除く)

	2023年度		2024年度				
	(億円)	実績	期初見通し	前回見通し	実績	増減	
		(a)	(b)	(2月時点)	(c)	(c)-(a)	(c)-(b)
受注高	2,370		1,910	1,910	2,561	191	+8.1%
EPC (新規建設)	386		640	640	911	525	271
継続的事業	1,984		1,270	1,270	1,650	-334	380
売上高	2,090		2,090	2,120	2,131	41	+2.0%
EPC (新規建設)	671		590	660	671	0	81
継続的事業	1,419		1,500	1,460	1,460	41	-40
営業利益	92		92	129	131	39	+42.4%
EPC (新規建設)	-64		-34	-34	-39	25	-5
継続的事業	156		126	163	170	14	44

2024年度決算 環境事業 (Inovaグループ)

	2023年度		2024年度				
	(億円)	実績	期初見通し (b)	前回見通し (2月時点)	実績	増減	
		(a)			(c)	(c)-(a)	(c)-(b)
受注高	3,218		2,790	3,490	3,613	395	+12.3%
EPC (新規建設)	1,562		1,870	2,270	2,183	621	313
継続的事業	1,656		920	1,220	1,430	-226	510
売上高	1,983		2,010	2,240	2,404	421	+21.2%
EPC (新規建設)	1,654		1,560	1,590	1,767	113	207
継続的事業	329		450	650	637	308	187
営業利益	99		128	127	123	24	+24.2%
EPC (新規建設)	79		73	107	110	31	37
継続的事業	20		55	20	13	-7	-42
換算レート (CHF/JPY)	163.47		160.00	170.00	172.11		

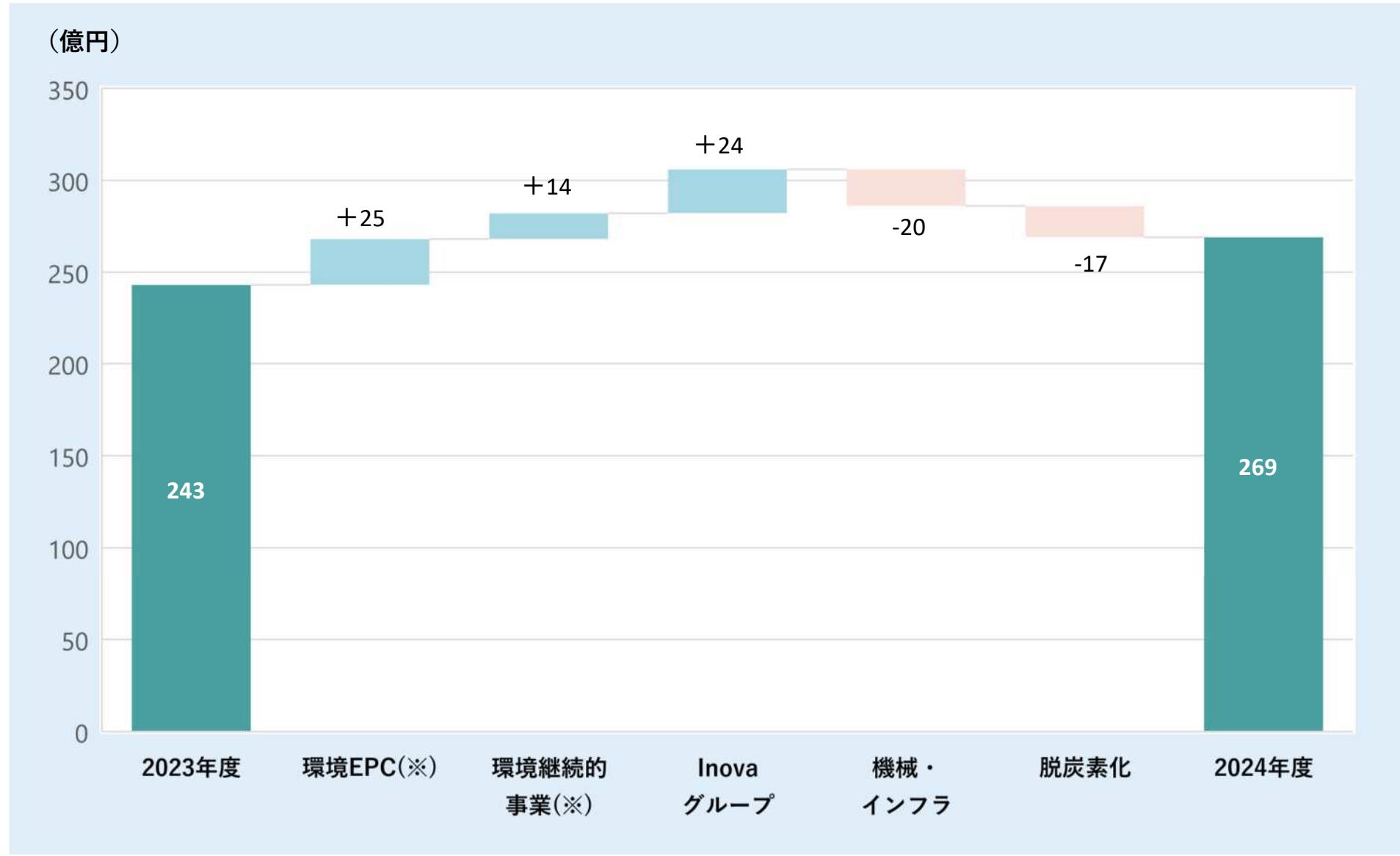
2024年度決算 機械・インフラ事業

	2023年度		2024年度				
	(億円)	実績	期初見通し	前回見通し	実績	増減	
		(a)	(b)	(2月時点)	(c)	(c)-(a)	(c)-(b)
受注高	808		840	840	912	104	+12.9%
プレス	220	210	210	233	13		23
精密	237	270	270	321	84		51
その他機械	91	80	80	96	5		16
インフラ	260	280	280	262	2		-18
売上高	910		830	800	830	-80	-8.8%
プレス	195	190	190	216	21		26
精密	280	290	260	258	-22		-32
その他機械	129	80	80	96	-33		16
インフラ	306	270	270	260	-46		-10
営業利益	30		24	6	10	-20	-66.7%
プレス	8	7	13	14	6		7
精密	13	10	-3	-1	-14		-11
その他機械	5	5	5	2	-3		-3
インフラ	4	2	-9	-5	-9		-7

2024年度決算 脱炭素化事業

		2023年度				2024年度	
		実績	期初見通し	前回見通し	実績	増減	
(億円)		(a)	(b)	(2月時点)	(c)	(c)-(a)	(c)-(b)
受注高	726		635	535	540	-186	-25.6%
エンジン	370	290	190	188	-182		-102
プロセス	207	280	280	307	100		27
脱炭素化システム	38	60	60	40	2		-20
風力	111	5	5	5	-106		0
売上高	552	750	720	702	150	+27.2%	-48
エンジン	242	270	270	270	28		0
プロセス	218	280	260	267	49		-13
脱炭素化システム	44	50	40	39	-5		-11
風力	48	150	150	126	78		-24
営業利益	18	13	-5	1	-17	-94.4%	-12
エンジン	-3	1	-7	-2	1		-3
プロセス	20	15	12	11	-9		-4
脱炭素化システム	4	3	-4	-3	-7		-6
風力	-3	-6	-6	-5	-2		1

2024年度決算 営業利益 増減内訳



2025年度 業績見通し：概況

(億円)	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度		
	実績	実績	実績	見通し	増減	
			(a)	(b)	(b)-(a)	
受注高	7,375	7,151	7,659	7,000	-659	-8.6%
売上高	4,926	5,558	6,105	6,200	95	+1.6%
営業利益	200	243	269	270	1	+0.4%
営業利益率	4.1%	4.4%	4.4%	4.4%		
営業外損益	-22	13	-26	-40	-14	
経常利益	178	256	243	230	-13	-5.3%
特別損益	7	-16	-7	—	—	
親会社株主に帰属する当期純利益	155	189	221	160	-61	-27.6%
ROE	11.5%	12.6%	12.6%	8.2%		
ROIC	6.2%	7.4%	6.8%	5.8%		
1株当たり当期純利益	92.43円	112.74円	131.33円	95.13円		
1株当たりの配当	18円	23円	25円	25円		

2025年度 業績見通し：セグメント別

(億円)	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度		
	実績	実績	実績	見通し (b)	増減	
			(a)		(b)-(a)	
受注高	7,375	7,151	7,659	7,000	-659	-8.6%
■ 環境	5,612	5,588	6,174	5,600	-574	
■ 機械・インフラ	902	808	912	670	-242	
■ 脱炭素化	762	726	540	700	160	
■ その他	99	29	33	30	-3	
売上高	4,926	5,558	6,105	6,200	95	+1.6%
■ 環境	3,481	4,073	4,535	4,700	165	
■ 機械・インフラ	882	910	830	700	-130	
■ 脱炭素化	466	552	702	770	68	
■ その他	97	23	38	30	-8	
営業利益	200	243	269	270	1	+0.4%
■ 環境	150	191	254	245	-9	
■ 機械・インフラ	34	30	10	20	10	
■ 脱炭素化	4	18	1	3	2	
■ その他	12	4	4	2	-2	

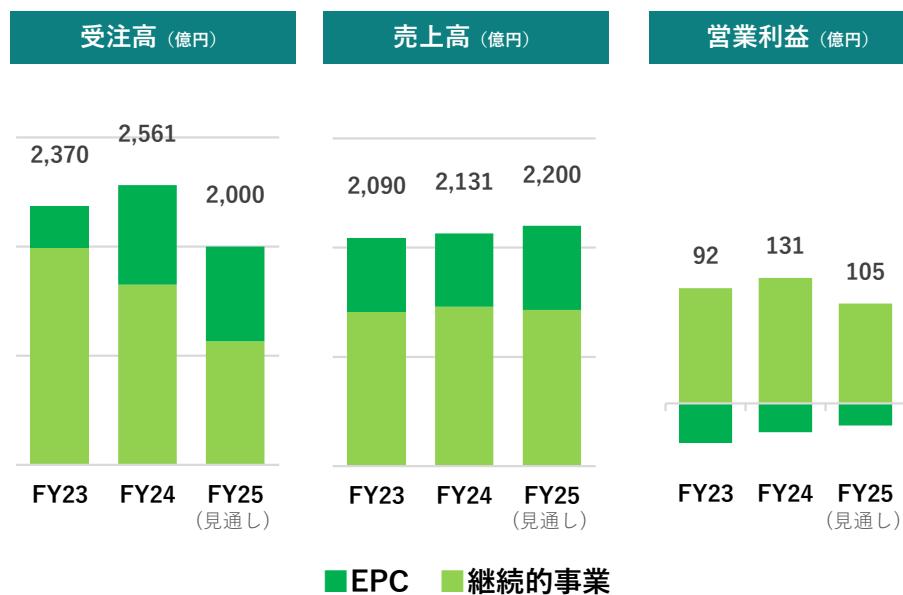
2025年度 業績見通し：環境事業（全体）

(億円)	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
	実績	実績	実績	見通し	増減
	(a)	(b)	(b)-(a)		
受注高	5,612	5,588	6,174	5,600	-574 -9.3%
EPC（新規建設）	3,179	1,948	3,094	2,970	-124
継続的事業	2,433	3,640	3,080	2,630	-450
売上高	3,481	4,073	4,535	4,700	165 +3.6%
EPC（新規建設）	1,835	2,325	2,438	2,370	-68
継続的事業	1,645	1,748	2,097	2,330	233
営業利益	150	191	254	245	-9 -3.5%
EPC（新規建設）	22	15	71	80	9
継続的事業	128	176	183	165	-18

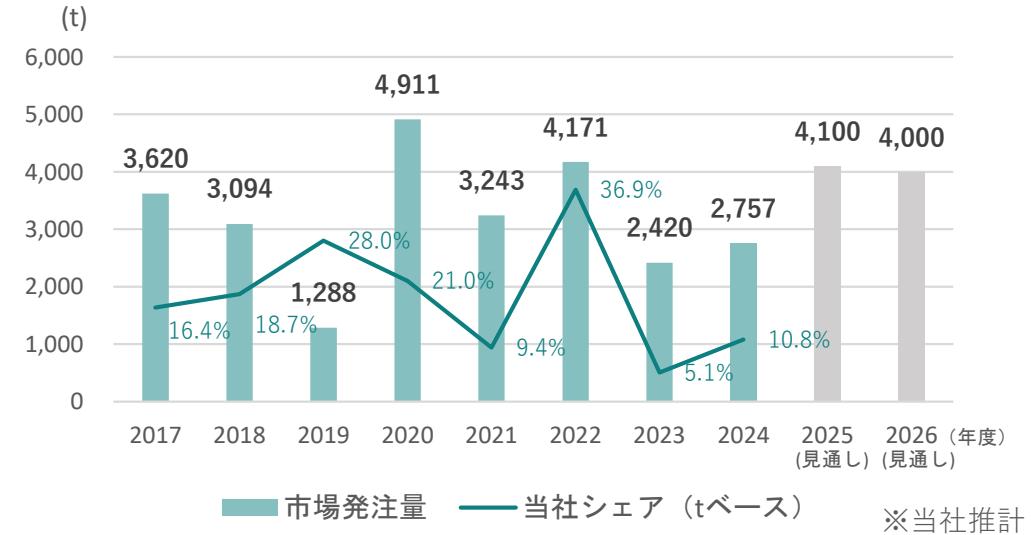
2025年度 業績見通し：環境事業（Inovaを除く）

(億円)	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
	実績	実績	実績	見通し	増減
			(a)	(b)	(b)-(a)
受注高	3,168	2,370	2,561	2,000	-561 -21.9%
EPC（新規建設）	1,150	386	911	870	-41
継続的事業	2,017	1,984	1,650	1,130	-520
売上高	2,086	2,090	2,131	2,200	69 +3.2%
EPC（新規建設）	651	671	671	770	99
継続的事業	1,434	1,419	1,460	1,430	-30
営業利益	80	92	131	105	-26 -19.8%
EPC（新規建設）	-38	-64	-39	-30	9
継続的事業	118	156	170	135	-35

事業別の状況：環境事業（Inovaを除く）



国内ごみ焼却発電：市場発注量と当社シェア



ごみ焼却発電施設

- 国内発注量は年間2,500-5,000 t/日程度で推移（24年度2,750 t/日、25年度4,100 t/日と推計）
- 当社でも25年度のEPC受注高の伸長を見込む
- 当期はDBO案件の受注減少を想定しており、継続事業の受注高の減少を見込む
- 継続的事業は高採算案件終了により25年度は減益

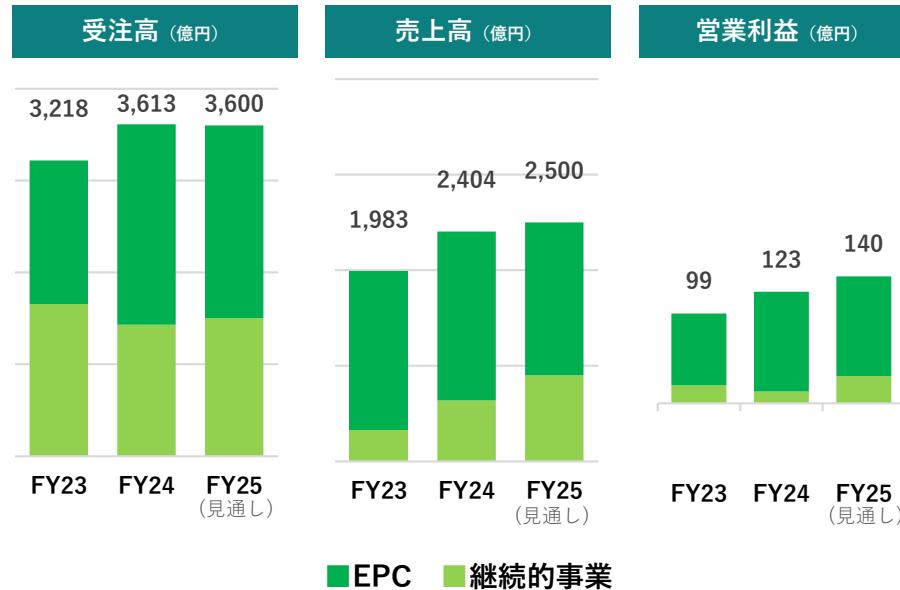
水事業

- 国内水事業は今期、受注高増加を見込む。一方、個別案件の収益性により、減益の見通し。
- 豪州子会社Osmofloでは、23年以降受注高が安定的に100億円を超え、25年度の受注高は約130億円を見込む。収益面でも增收増益の見込み。

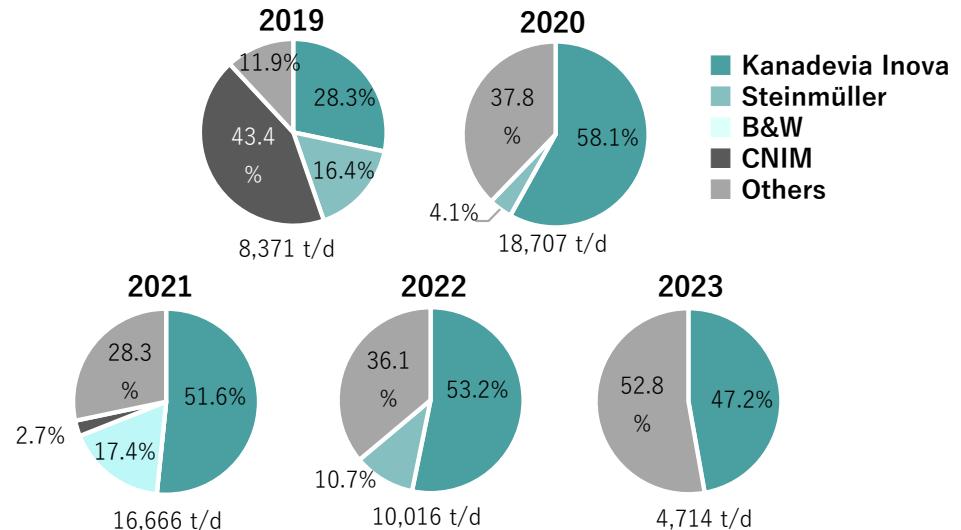
2025年度 業績見通し：環境事業 (Inovaグループ)

(億円)	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
	実績	実績	実績	見通し	増減
			(a)	(b)	(b)-(a)
受注高	2,443	3,218	3,613	3,600	-13 -0.4%
EPC（新規建設）	2,028	1,562	2,183	2,100	-83
継続的事業	415	1,656	1,430	1,500	70
売上高	1,394	1,983	2,404	2,500	96 +4.0%
EPC（新規建設）	1,184	1,654	1,767	1,600	-167
継続的事業	210	329	637	900	263
営業利益	70	99	123	140	17 +13.8%
EPC（新規建設）	60	79	110	110	0
継続的事業	10	20	13	30	17
換算レート (CHF/JPY)	141.83	163.47	172.11	165.00	

事業別の状況：環境事業（Inovaグループ）



WtEプラント新規受注の処理量ベースの市場シェア（欧州・中東）



出典：A. Vaccani & Partner 社 調査レポート / Roland Berger社レポート

ごみ焼却発電施設

- 24年度は英国で大型ごみ焼却発電プラントEPCを2件受注（Thameside-Tilbury、Wisbech-Medworth）、StenmullerでもドイツでEP案件を受注（Schwandorf）
- 25年度は、イタリア、モロッコなどで大型プラントEPCの受注をめざす
- 上記新規案件では、長期O&M、サービス契約の締結もめざす

リニューアブルガス事業

- 25年1月に英国のアセットマネジメント会社を買収、11の既存バイオガスプラントと欧州で検討中の新規プロジェクトに加え、事業開発・プラント運営のノウハウと人材を獲得

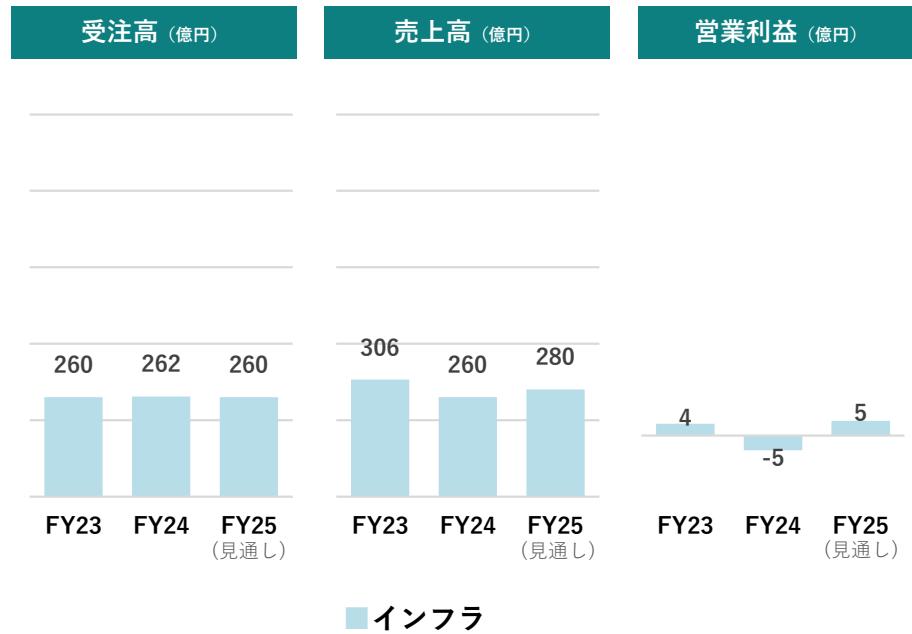
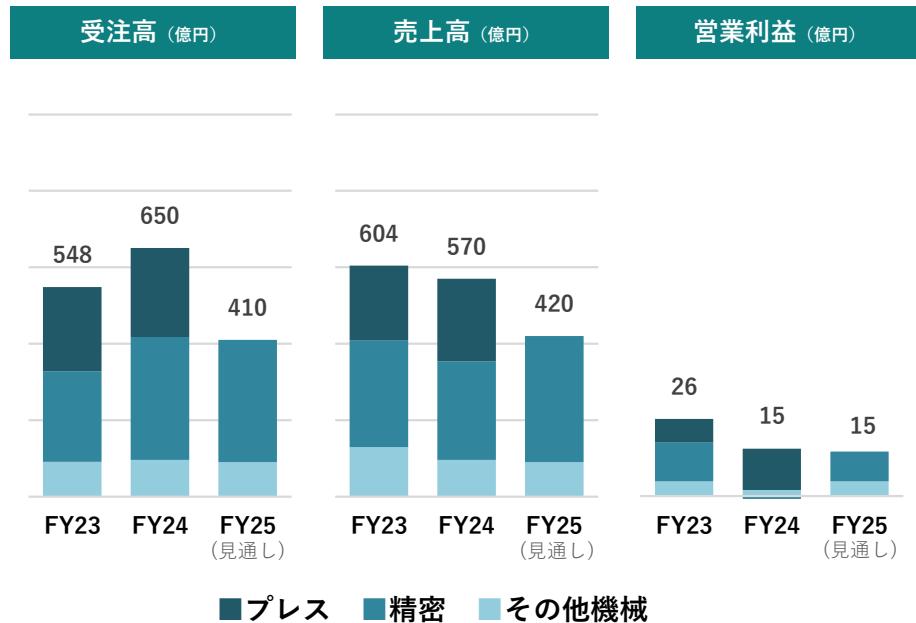
サービス（O&M）事業

- ドバイ、英スラウのプラントが完工し、長期運営がスタート、ダブリンで運営事業を買収
- デンマーク、米国でメンテナンス会社を買収

2025年度 業績見通し：機械事業 / 社会インフラ事業

(億円)	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
	実績	実績	実績	見通し	増減
			(a)	(b)	(b)-(a)
受注高	902	808	912	670	-242
機械事業	636	548	650	410	-240
プレス	216	220	233	—	-233
精密	304	237	321	320	-1
その他機械	116	91	96	90	-6
社会インフラ事業	264	260	262	260	-2
売上高	882	910	830	700	-130
機械事業	620	604	570	420	-150
プレス	156	195	216	—	-216
精密	325	280	258	330	72
その他機械	138	129	96	90	-6
社会インフラ事業	262	306	260	280	20
営業利益	34	30	10	20	10
機械事業	30	26	15	15	0
プレス	5	8	14	—	-14
精密	22	13	-1	10	11
その他機械	3	5	2	5	3
社会インフラ事業	4	4	-5	5	10

事業別の状況：機械事業 / 社会インフラ事業



機械

- 24年度は、ペロブスカイト太陽電池量産用ロールtoロール成膜装置および各種真空装置を受注。今後も積極的に、ペロブスカイト太陽電池の普及に貢献していく。
- 25年度の収益は、上記に加えて、受注増に伴う增收増益を見込む。

社会インフラ

- 24年度は水門の個別工事損益の悪化が生じたが、25年度への影響は無し。
- 水門：国内のダム再開発案件や電力会社等のリプレース案件の増加により市場が伸長。海外では、TANGENT Kanadevia (23年10月設立) を活用し、東南アジアの水門需要、ODA案件等に対応。
- 橋梁：メンテ市場が堅調に推移。当社は高速道路会社案件を中心に受注拡大をめざす。

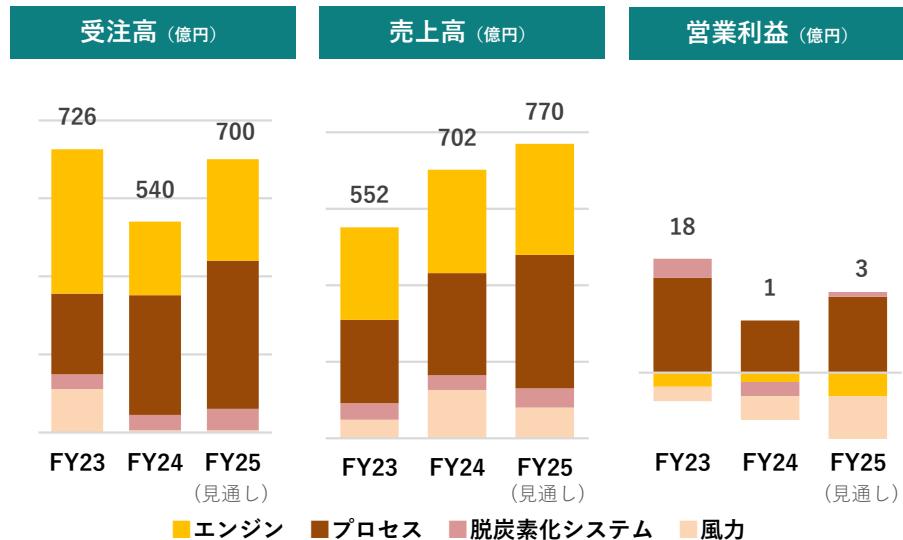
2025年度 業績見通し：脱炭素化事業

(億円)	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度		
	実績	実績	実績	見通し	増減	
	(a)	(b)	(b)-(a)			
受注高	762	726	540	700	160	+29.6%
エンジン	229	370	188	260	72	
プロセス	237	207	307	380	73	
脱炭素化システム	42	38	40	55	15	
風力	254	111	5	5	0	
売上高	466	552	702	770	68	+9.7%
エンジン	235	242	270	290	20	
プロセス	188	218	267	350	83	
脱炭素化システム	32	44	39	50	11	
風力	10	48	126	80	-46	
営業利益	4	18	1	3	2	+200.0%
エンジン	-9	-3	-2	-5	-3	
プロセス	10	20	11	16	5	
脱炭素化システム	4	4	-3	1	4	
風力	-1	-3	-5	-9	-4	

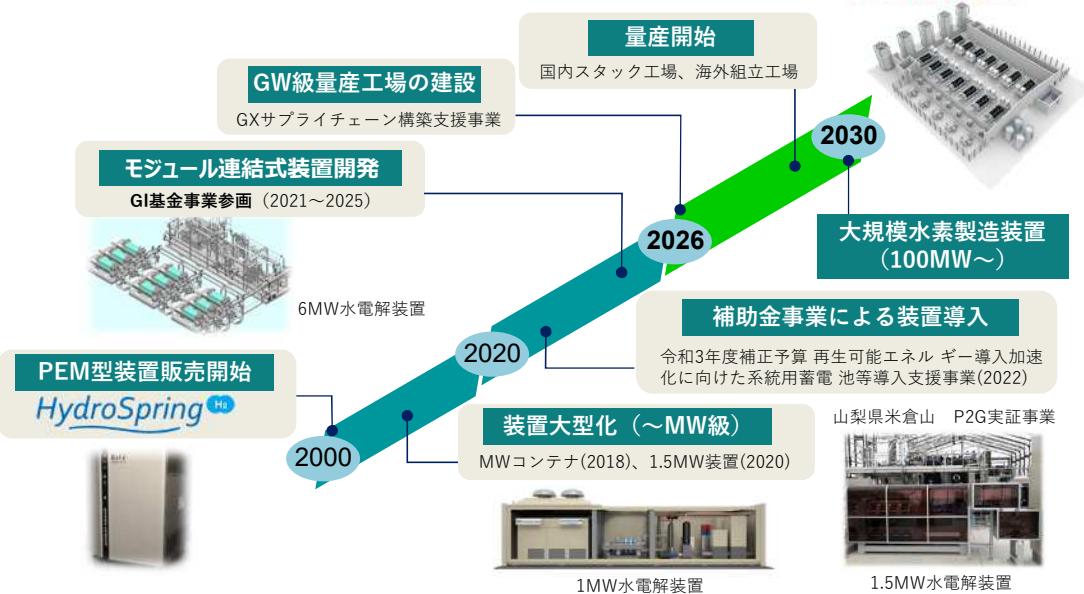
注：2023年度より「エンジン」に含まれていた、一部製品（脱硝装置）を「脱炭素化システム」に移管した。

上記の過年度数値は組み換え後の参考値。詳細はファクトシート（Excel）参照。

事業別の状況：脱炭素化事業



装置大型化・事業拡大のロードマップ（PEM型水電解装置）



エンジン

- 国内造船所は手持ち工事量が拡大し、早期のエンジン発注の動き
- 資材価格の高騰や円安を踏まえた価格転嫁をめざす

プロセス

- 国内は代替燃料利用やCCSの検討が進み、貯蔵・輸送タンクの需要が高まる見通し
- 米国では乾式貯蔵キャスクの需要が堅調も、相互関税の影響を注視

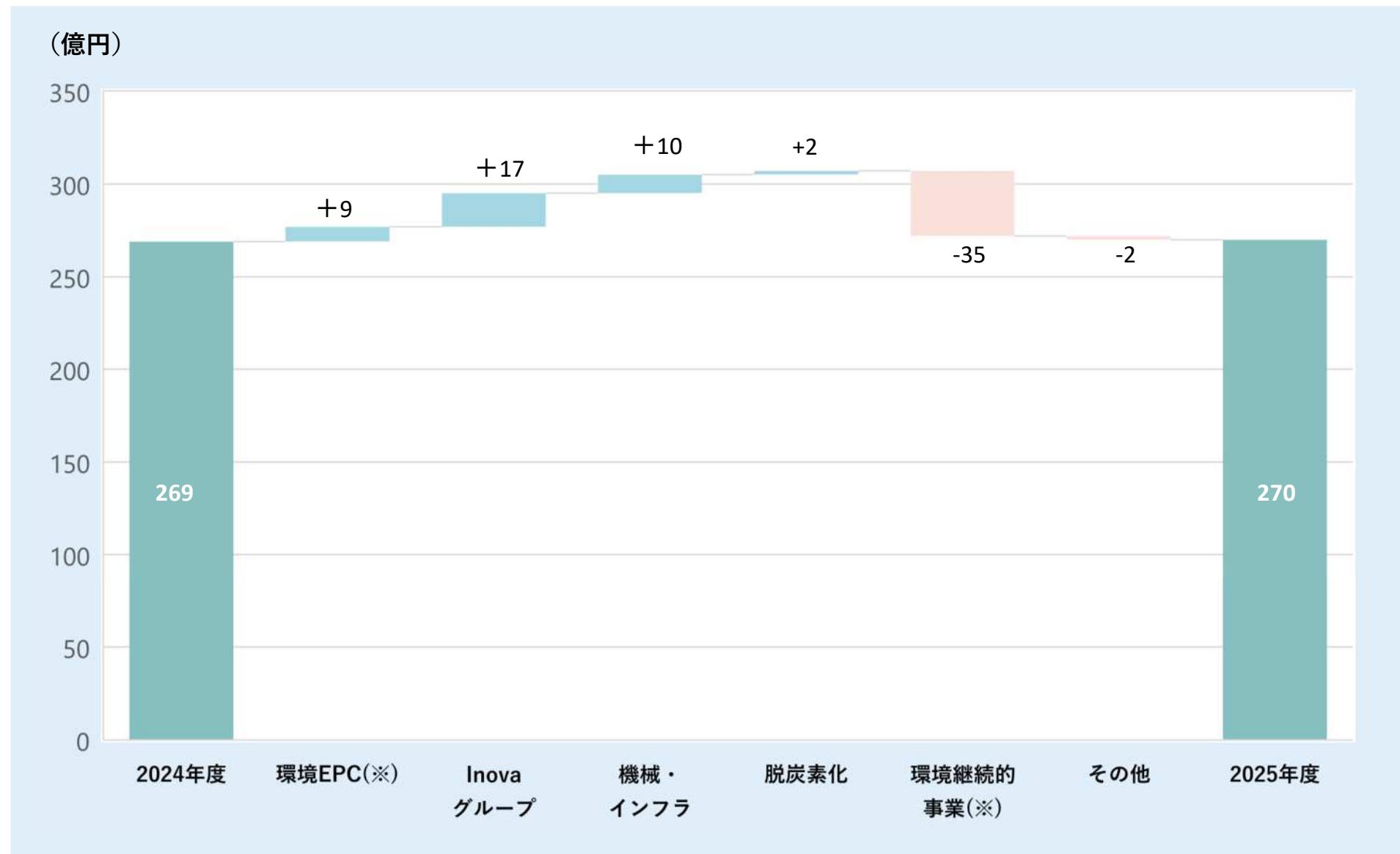
脱炭素化システム

- 水素発生装置の世界の導入量は、2024年末までに5GWに達し、2030年までに230GWとなる予測
(出所：IEA "Global Hydrogen Review 2024")
- Inova、Osmofloと共同でオマーンでのメタネーションの事業化に取り組み

風力

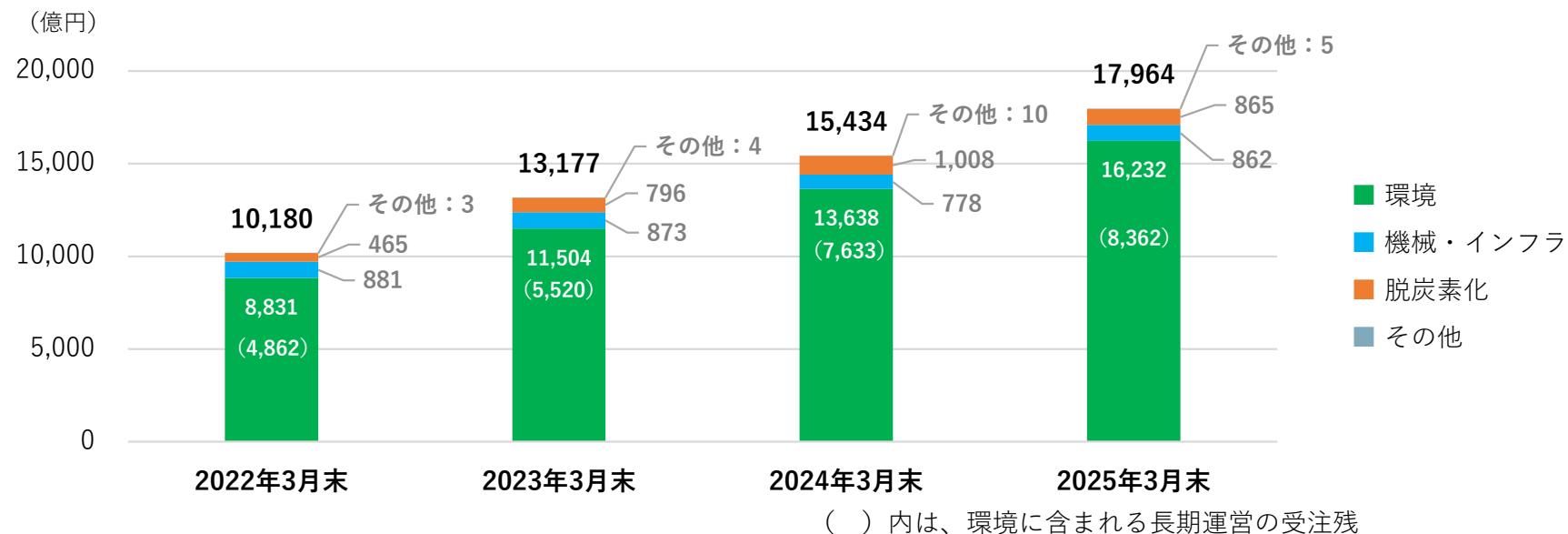
- 日本政府の洋上風力発電導入目標：2030年までに1,000万kW、2040年までに3,000万kW～4,500万kW
- NEDOの浮体式洋上風力発電実証事業（GI基金事業フェーズ2）に採択、愛知県沖でセミサブ型浮体式基礎を使用した実証事業

2025年度 業績見通し：営業利益 増減内訳

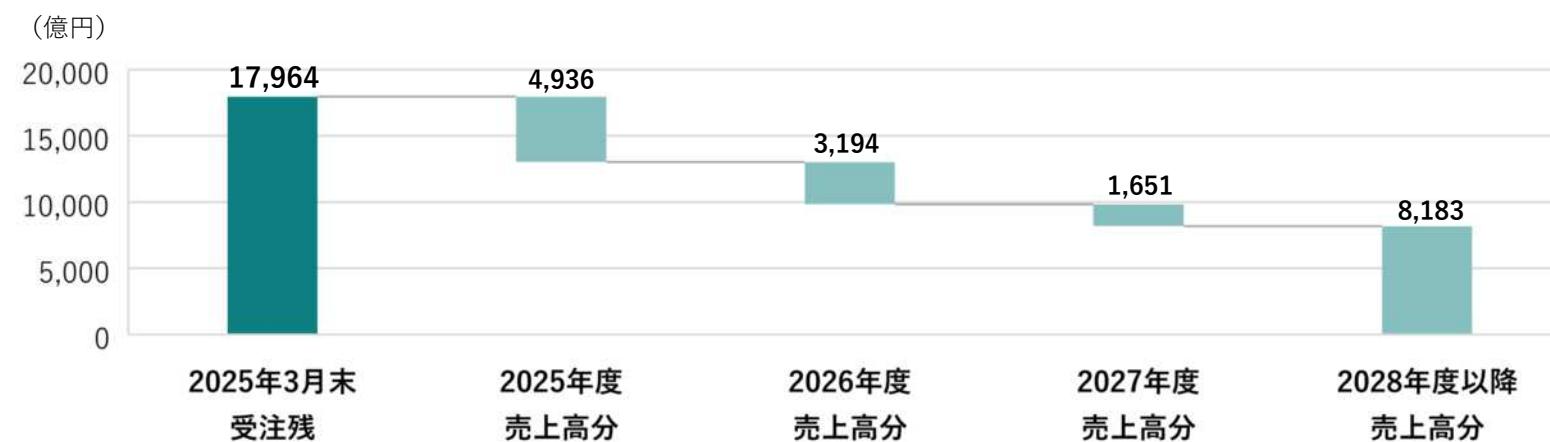


受注残の推移・展開

受注残の推移



受注残の年度別売上高展開



主要財務數値

(億円)

	2022年度 実績	2023年度 実績	2024年度 実績	2025年度 見通し
総資産	4,796	5,335	6,096	6,350
現金及び預金	864	716	708	700
自己資本	1,396	1,627	1,894	2,012
自己資本比率	29.1%	30.5%	31.1%	31.7%
有利子負債	865	914	1,358	1,550
研究開発費	86	112	120	120
設備投資	79	96	274	150
減価償却費	105	111	119	125
ROE	11.5%	12.6%	12.6%	8.2%
ROIC	6.2%	7.4%	6.8%	5.8%

貸借対照表の項目は、各年度末の数字

経営・事業情報

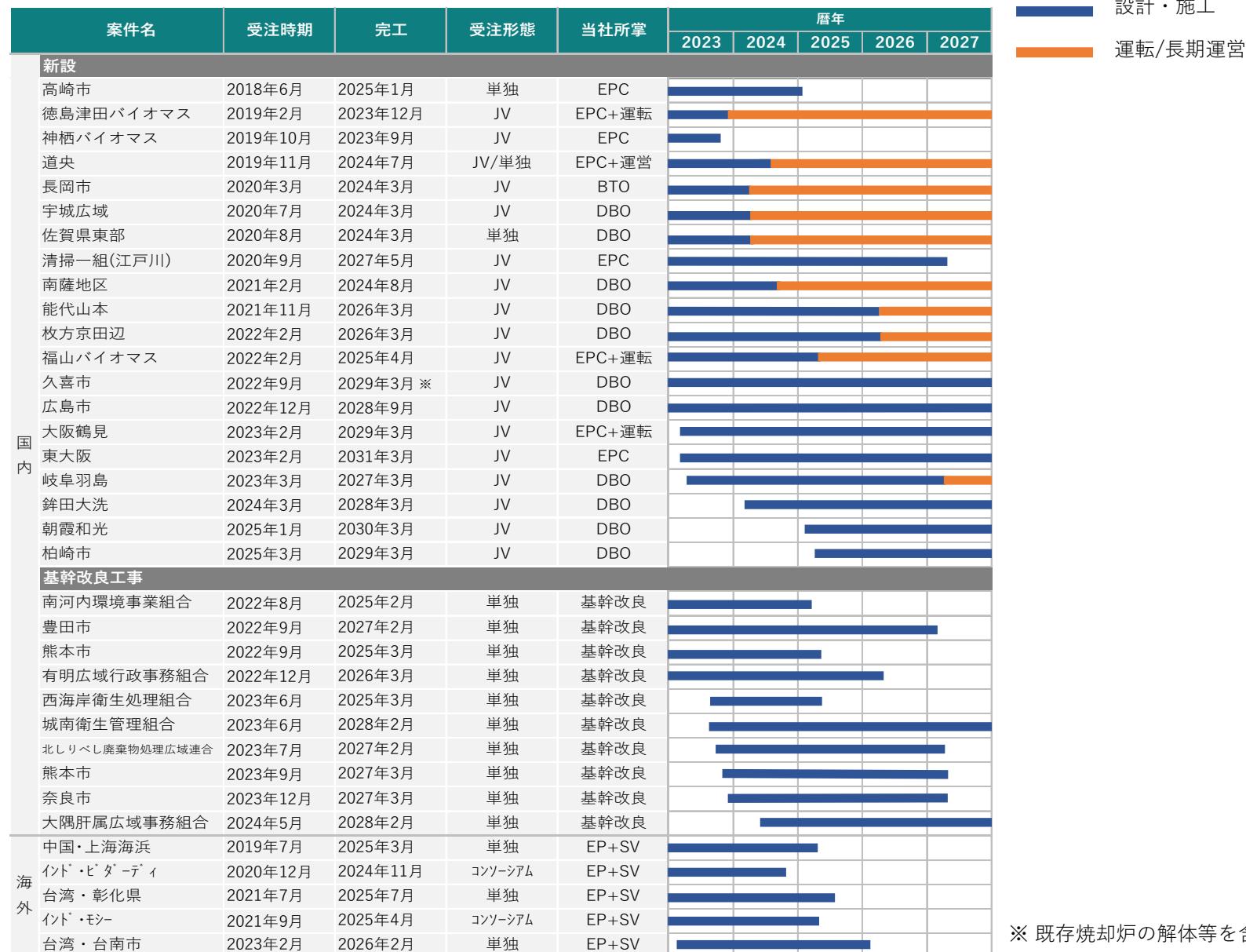
2024年度 主要受注実績（国内）

案件	場所	受注時期	内容	仕様など	納期、運営期間
ごみ焼却発電					
肝属地区清掃センター基幹的設備改良工事	鹿児島県鹿屋市	24年5月	性能の回復・延命化、省エネルギー対策やCO2削減に資する機能向上など	128トン/日 (2炉)	工期：2024年6月～2029年2月
ごみ焼却発電					
京都市南部クリーンセンター運転監視等業務委託	京都府京都市伏見区	24年9月	運転操作、監視・記録、点検・調整等（5年間）	500トン/日 (2炉)	期間：2024年10月～2029年9月
ごみ焼却発電					
山県市クリーンセンター運営管理委託事業	岐阜県山県市	24年9月	運営管理（5年）	36トン/日 (2炉)	運営：2025年4月～2030年3月
ごみ焼却発電					
朝霞和光資源循環組合ごみ広域処理施設整備・運営事業	埼玉県和光市	25年1月	DBO方式によるごみ広域処理施設の整備・運営	175トン/日 (2炉)	納期：2030年3月 運営：2030年4月～2050年3月
ごみ焼却発電					
新ごみ処理場整備・運営事業	新潟県柏崎市	25年3月	DBO方式による新ごみ処理場の整備・運営	80トン/日 (2炉)	納期：2029年3月 運営：2029年4月～2049年3月
黒液回収ボイラ発電設備					
日本製紙/石巻工場 黒液回収ボイラ発電設備	宮城県石巻市	25年3月	黒液回収ボイラ及び蒸気タービン発電機の新設 (カナデビア・アンドリツ共同企業体にて受注)	2,200トン/日、 56MW	工期：2025年3月～2028年12月

2024年度 主要受注実績（海外）

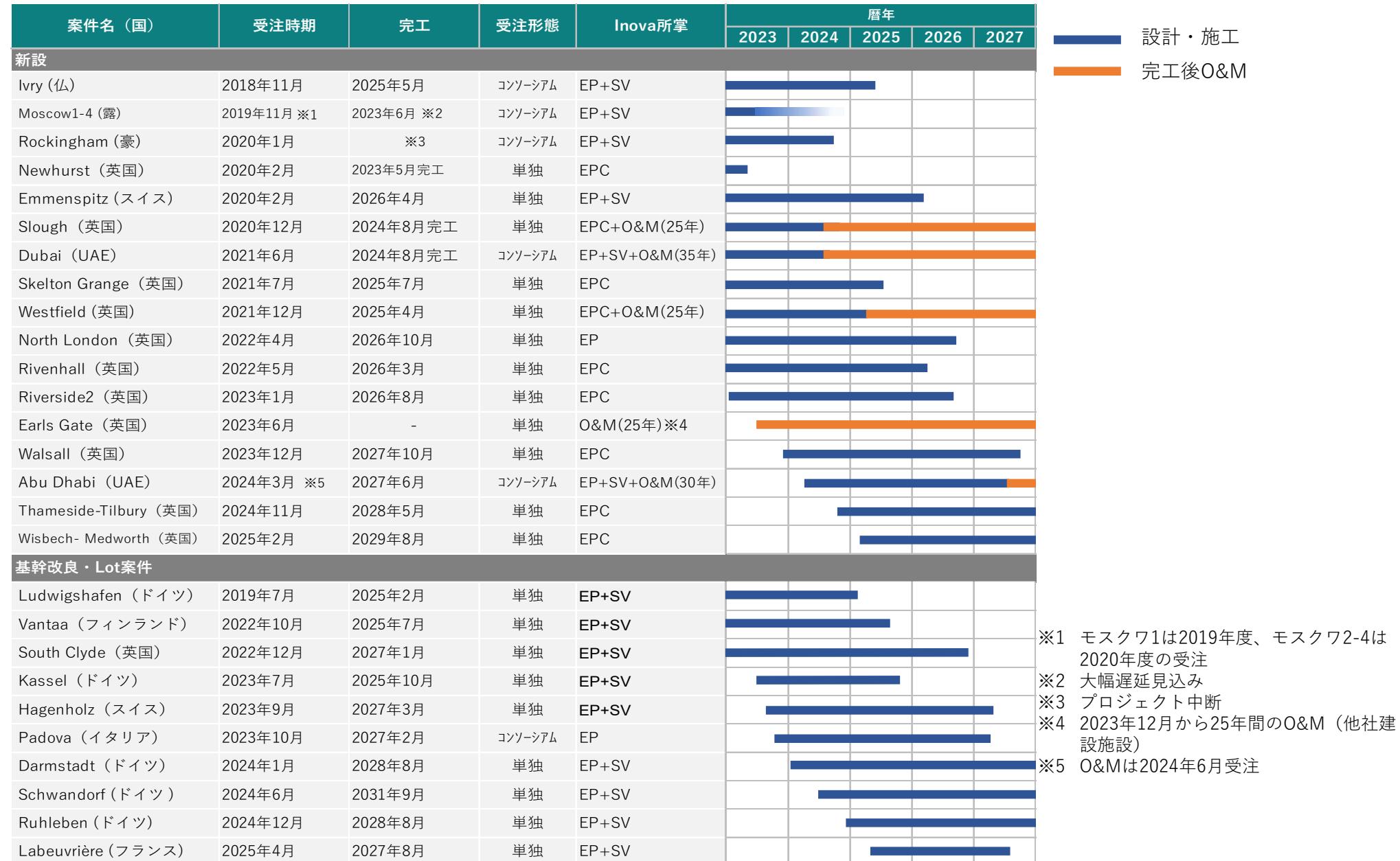
案件	場所	受注時期	内容	仕様など	納期、運営期間
Inova ごみ焼却発電 アブダビ O&M	アラブ首長国連邦	24年6月	所掌：プラントの完成後の運営事業（30年間） 客先：Emirates Water and Electricity Company Tadweer Group	約2,700トン/日（2炉） 発電容量80MW	運営：2027年～2057年
Inova ごみ焼却発電 シュバンドルフ (Steinmüller)	ドイツ バイエルン州	24年6月	所掌：EP（焼却・排ガス処理等の主要機器） 客先：シュバンドルフSPA 老朽化した既設ボイラーシステム（Steinmüller納入）を更新	1,050トン/日（2炉） 発電容量約134MW	納期：2031年9月
Kanadevia ごみ焼却発電 キルギス	キルギス ビシュケク	24年9月	所掌：焼却炉に係る設計、機器供給 客先：Junxin Huanbao KG Invest LLC	1,000トン/日（1炉） 発電容量30MW	納期：2025年12月
Kanadevia 水門 フィリピン水門工事 (JV)	フィリピン マニラ	24年9月	パッシグ・マリキナ川河川改修事業 フェーズIV 河川改修・マリキナ堰の製作・輸送・据付・試運転等 東洋建設、IHIインフラ建設とのJVで受注/ODA案件	水門ほか、施工一式 寸法： 幅28.3m×高さ9.55m	納期：2030年1月予定
Inova ごみ焼却発電 ティルベリー Thameside-Tilbury	イギリス ロンドン東部	24年11月	所掌：ごみ焼却発電プラントのEPC 客先：Thameside Energy Recovery Facility	1,039トン/日（1炉） 発電容量40MW	稼働：2028年予定
Inova ごみ焼却発電 メドワース Wisbech-Medworth	英国イングランド東部	25年2月	所掌：ごみ焼却発電プラントのEPC業務 客先：MMV Environment Ltd	約1,800トン/日（2炉） 発電容量50MW	稼働：2029年予定
Osmoflo 水処理 ベル蒙ト (Belmont)	豪州 ニューサウスウェールズ州	25年3月	所掌：水処理プラントの設計・調達、組立ておよび 2年間のO&M 客先：John Holland Group	生産水量： 通常30,000 m ³ /day 最大33,000 m ³ /day	納期：2027年7月

環境事業主要プロジェクト (Inovaグループを除く)



※ 既存焼却炉の解体等を含めた工期

環境事業主要プロジェクト (Inovaグループ)



中期経営計画「Forward 25」の目標と進捗

財務目標

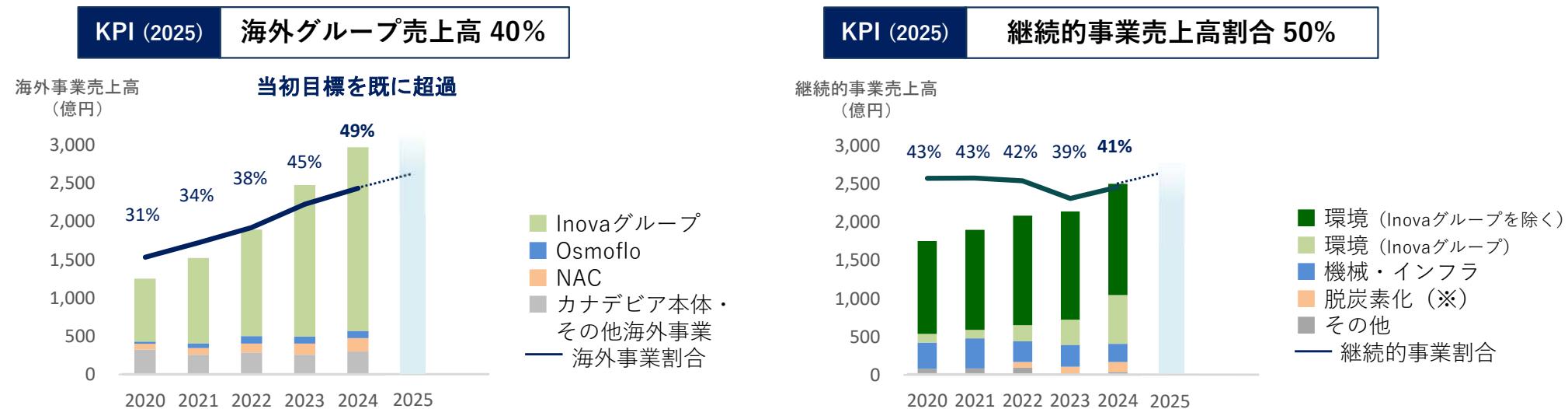
	2023年度 実績	2024年度 実績	2025年度 見通し	2025年度 中計目標
受注高	7,151	7,659	7,000	6,000
売上高	5,558	6,105	6,200	5,600
営業利益 (利益率)	243 4.4%	269 4.4%	270 4.4%	280 5.0%

基本方針および重点施策

基本 方針	1 既存事業の持続的成長	2 成長事業の創出・拡大	3 持続可能な経営の推進 (企業価値の向上)
重点 施策	<ul style="list-style-type: none">① 海外事業の伸長② 事業構造改革の推進③ 継続的事業の拡大および 新設事業の収益改善	<ul style="list-style-type: none">① 投資(事業投資・開発投資) 戦略の実行② 重点分野への投資	<ul style="list-style-type: none">① 人的資本の強化② 事業活動の脱炭素化③ DX戦略の推進④ リスク管理の徹底

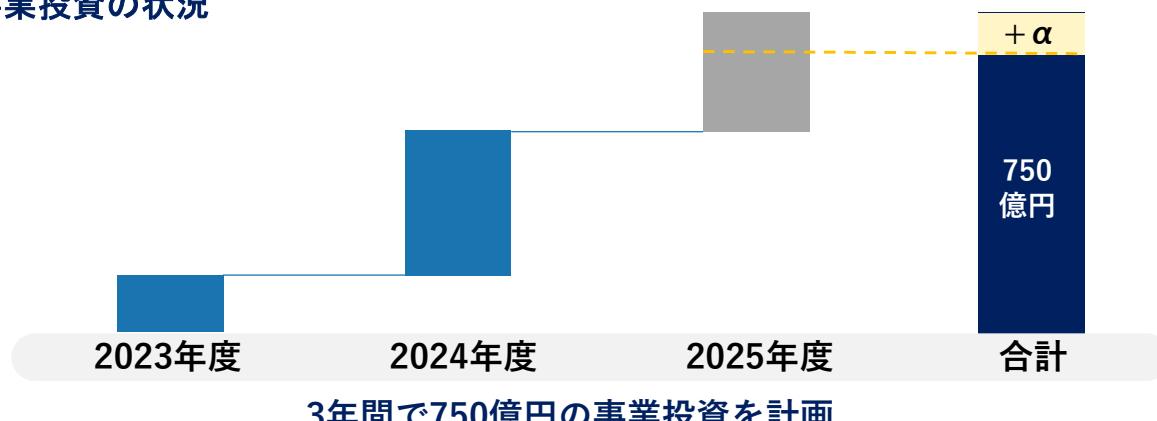
「Forward 25」 進捗状況

基本方針 1 既存事業の持続的成長



基本方針 2 成長事業の創出・拡大

事業投資の状況



2024年度の主な事業投資

M&A

- ✓ BWRS(デンマーク)
- ✓ ICL/IMS(イギリス)
- ✓ MPS(アメリカ)
- ✓ EST Industries(フランス)

「Forward 25」進捗状況

基本方針3 持続可能な経営の推進（企業価値の向上）

	項目	2023年度実績	2024年度実績	Forward25目標
人材	女性新卒採用率	事務系： 28.6% 技術系： 13.2%	事務系： 50.0% 技術系： 6.9%	事務系： 50% 技術系： 10%
	職員エンゲージメント指数	42	44	70
	男性の育児休暇・休業取得率	92.6%	94.8%	100%
	生活習慣病平均有所見率	27.2%	25.5%	21%
環境	CO ₂ 排出量 (Scope1+2)	39.7%減	集計中	34%削減 (2013年度比)
DX	製品IoT化率	40.4%	64.2%	60%
	DX人材育成数	158名（累計）	352名（累計）	500名
リスク管理	休業災害件数	12件	14件	ゼロ
	売上高不良費比率	1.3%	1.2%	0.5%以下

海外事業拡大・継続的事業拡大のための戦略的M&A（Kanadevia Inova）

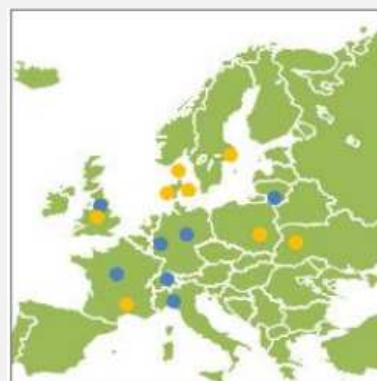
ごみ焼却発電プラント サービス事業会社（デンマーク）

Kanadevia Inova Denmark A/S

（旧社名：Babcock & Wilcox Renewable Service）

WtEプラントなどのアフターサービス・メンテナンス
(2024年6月買収)

- Inovaの既存サービス拠点とあわせて、欧洲全体でアフターサービス事業を展開
- 2025年4月には、B&WからWtEプラントに関する燃焼装置の知的財産などを有する子会社を買収



● Inovaのサービス拠点
● BWRSのサービス拠点

バイオガスプラント アセットマネジメント会社（英国）

Iona Capital Ltd.

バイオガスプラントの事業開発・運営
(2024年12月買収)

- 事業分野の拡大（自社所有事業の開発・運営）
- 事業開発とプラント運営のノウハウ・人材獲得
- 既存バイオガスプラント11カ所、欧洲で取組中の新規案件を継承



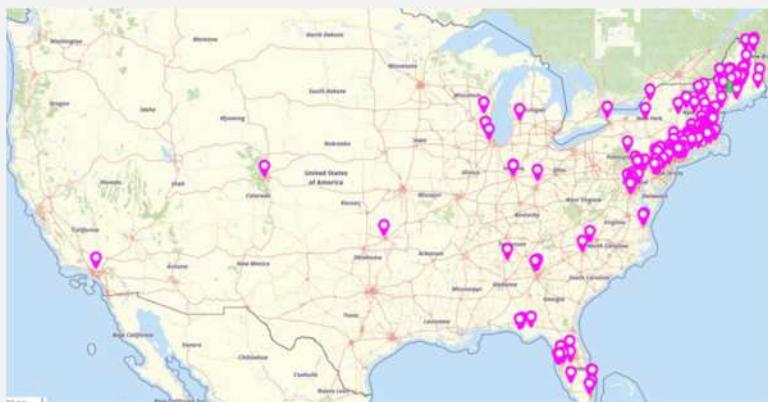
海外事業拡大・継続的事業拡大のための戦略的M&A (Kanadevia Inova)

ごみ焼却発電 (WtE) プラント ボイラーメンテナンス会社 (米国)

Matrix Power Services

WtEプラントのボイラーパーツ供給・据付・メンテナンス
(2025年4月買収)

- 既存事業：米国内約40カ所のごみ焼却発電施設向けサービス
- サービス領域の拡大：プラントの基幹改良・アップグレード



同社がサービスを提供するプラントの所在地

ごみ焼却発電プラント運転会社 (アイルランド)

Encyclis Ireland Operations

ダブリン Waste to Energy プラント運営会社
(2025年夏 買収完了予定)

- プラントはInovaが設計・建設し、2017年から稼働
- 2062年まで38年間の運転・維持管理業務を継承
- ごみ処理能力の増強工事を予定 (600,000トン/年から15%増加)



ダブリンWaste to Energyプラント

成長事業・重点分野への投資（脱炭素化事業）

当社初の水電解スタックの量産工場建設を決定（山梨県都留市）

水素関連事業で2030年代に売上高1,000億円以上、2040年代に2,000億円以上を目指す

- 生産能力： 年産1GW（電解効率5kWh/Nm³として、製造水素換算157,000トン/年）
- 設備投資額： 約80億円
- 完成予定： 2028年度末



水電解スタック

水を電気分解して水素を製造する固体高分子（PEM：Polymer Electrolyte Membrane）型水素発生装置の中核機器

事業ポートフォリオ・マネジメント

■ 低採算事業のスクリーニング

数値指標

- 営業利益率など
- 当社ビジョンとの整合性

戦略・ リスク評価

- 事業目標の達成度
- 事業地位、事業の魅力度の将来性
- 事業環境の変化による重大なボトルネックの発生

■ 事業レベル4区分の判定

1

伸長

2

主力

3

要収益改善

4

要対策

- 繼続的に改善
- 経営資源の重点配分

- 経営戦略会議、取締役会で
対応策を審議

低採算事業の整理と経営資源の伸長分野へのシフト

- PDCAを回しながら、事業戦略や具体的施策の定期的な見直しを実施
- 各事業について「サステナブルビジョン」や「2030 Vision」との整合性を検証し、
事業成長と社会貢献の両立をめざす

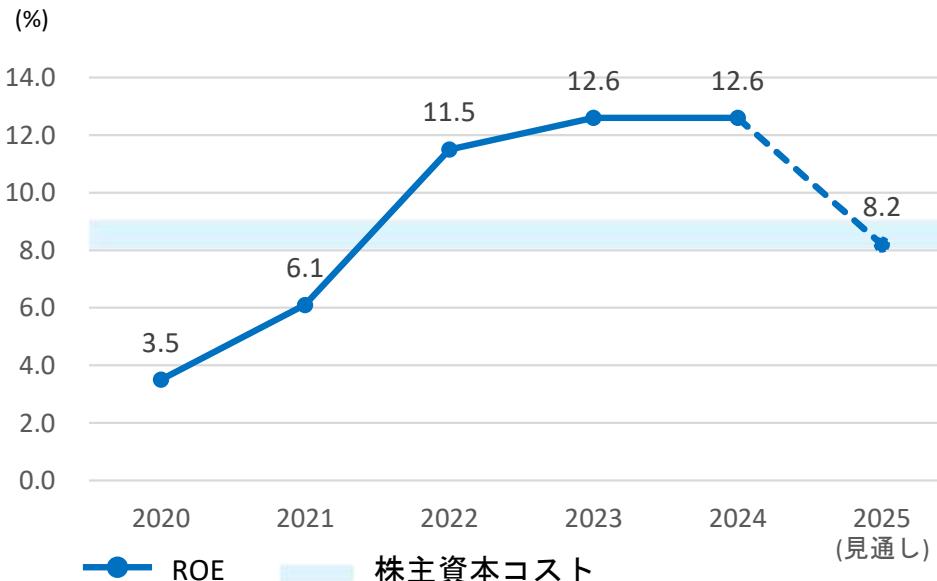
事業ポートフォリオ・マネジメント

2020年以降に実施した主な取り組み

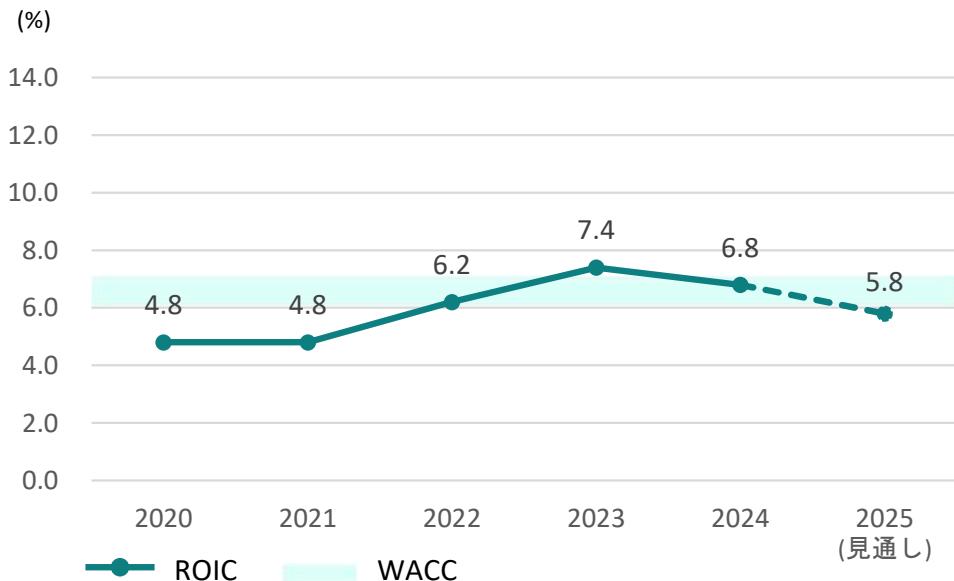
時期	内容	買収	戦略的アライアンス	譲渡
2020年4月	Inovaが仏メンテナンス会社ESTIを買収	○		
2020年11月	NAC Internationalが米Deep Isolationに出資		○	
2021年7月	Inovaが独バイオガス関連企業をSchmack Groupから買収	○		
2021年10月	川崎重工業（株）とシールド事業を統合		○	
2022年2月	Inovaが独Steinmüllerを買収	○		
2022年9月	甲板機械子会社の株式を譲渡			○
2022年10月	東京電力HD（株）とキャスク合弁事業		○	
2023年1月	NAC Internationalが米Philotechnicsを買収	○		
2023年2月	物流子会社の株式の66.6%を譲渡			○
2023年4月	舶用エンジン事業の分社化・今治造船(株)との協業		○	
2023年5月	TREホールディングス（株）と環境事業で業務提携契約の締結		○	
2023年6月	NAC InternationalがカナダNIAGARA ENERGY PRODUCTSを買収	○		
2024年3月	Inovaが伊Schmack Biogasを買収	○		
2024年6月	InovaがデンマークのBabcock & Wilcox Renewable Serviceを買収	○		
2024年10月	Inovaが仏EST Industriesを子会社化	○		
2025年1月	Inovaがバイオガスプラントのアセットマネジメント会社を買収	○		
2025年4月	Inovaが米国でごみ焼却発電プラント関連企業を買収	○		
2025年4月	Inovaがごみ焼却発電プラントの燃焼装置等に関する知的財産権やエンジニア等を取得	○		
2025年5月	プレス機械子会社の譲渡			○
2025年夏予定	InovaがアイルランドのO&M企業を買収（2025年3月買収契約締結）	○		

資本コスト

ROE・株主資本コスト



ROIC・WACC



- 資本コスト=投資家の期待収益率という考え方方に立ち、投資家との対話を通じて、投資家の考える水準を8%から9%と認識。
- 2024年度のROEは前期から横ばい。2025年度は、当期純利益の減少、自己資本の増加により、ROEは低下する見込み。

- 2024年度に引き続き、2025年度も将来の持続的成長のための戦略的事業投資を積極的に実施する計画で、ROICは低下を見込む（中長期的には投資の効果により回復）。
- 今後は、ROICの活用をさらに進め、事業ポートフォリオの管理を強化。

株主還元

当社は、長期的な株主価値の向上のために、成長投資、研究開発・設備投資等を通じた経営基盤と財務基盤の強化に取り組み、継続的かつ安定的な配当を実施することを株主還元の基本方針としています。

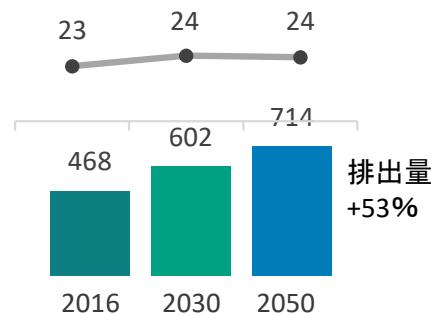
	1株当たり 当期純利益	1株当たり 配当	配当性向
2023年度	112.7円	23円	20.4%
2024年度	131.3円	25円 (期初予想23円)	19.0%
2025年度 (期初予想)	95.1円	25円	26.3%

Appendix

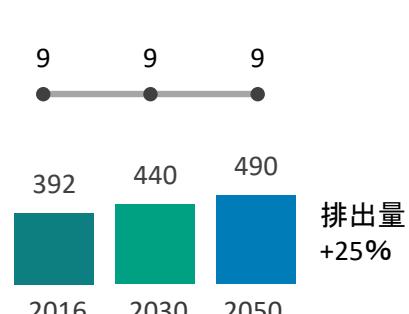
グローバル市場における成長力：一般廃棄物排出量予想

一般廃棄物排出量（単位：百万トン） 人口（単位：億人）

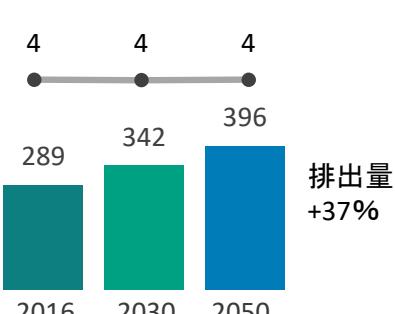
東アジア・太平洋 既存市場



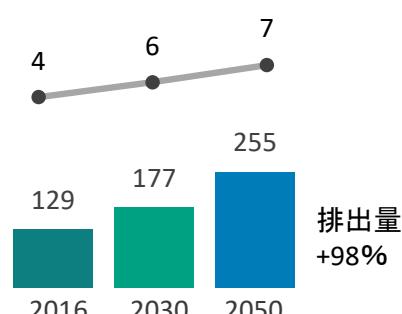
ヨーロッパ・中央アジア 既存市場



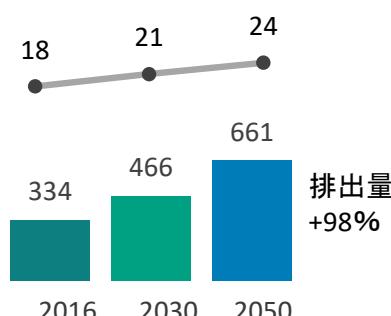
北米 既存市場



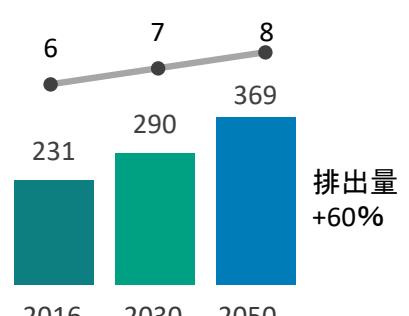
中東・北アフリカ 新興市場



南アジア 新興市場



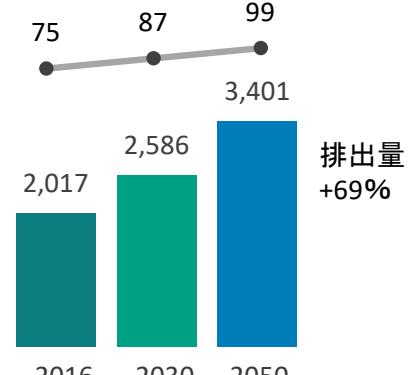
中南米 潜在市場



サブサハラアフリカ 潜在市場



世界全体



2016年（実績） 2030年（予測） 2050年（予測）

World Bank Group 「WHAT A WASTE 2.0 -A Global Snapshot of Solid Waste Management to 2050-」を基に当社作成



(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる結果となる可能性があります。